

令和 7 年度

事業評価書

総務部 防災交通課

事業概要 県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島交通費の助成を実施します

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 2 款 1 項 8 目 3 事業 離島交通費

予算額 (R7) 27,942千円 財源内訳 国庫支出金 6,614千円 県支出金 9,306千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 12,022千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金 町債 その他 一般財源

計画 (PLAN)

年度		令和6年度				令和7年度				
事業内容	離島振興事業			離島交通費助成事業			篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行います。			
	愛知県とともにイベントへ参加し、離島PR活動を行います。離島振興事業の内容をまとめ、全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望します。			篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行います。						
基本施策① ※①	2-4	何度も訪れたい観光・交流		3-5	安心な暮らしを支える地域公共交通		3-5	暮らしを支える地域公共交通		
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		
基本施策③ ※①										
重点政策 ※②	1	②	③	※R6は①子育て②産業③定住の順			1	2	③	

改善 (ACTION)

課題	県内のほか、県外のイベントに参加し、一定のPR効果は得られましたが、リアルイベントのため効果が限定的でした。	助成券を毎年紙で印刷し、年度初めに3,000人弱の島民に配布しており、作業が煩雑となっています。	
改善・対応策	愛知県や西尾市と連携し、県外で開催されるPRイベントのほか、SNSを活用したPRを行います。なお、令和7年度より一般企画費へ予算を統合します。	デジタル導入など、新たな助成方法の検討を行います。	
推進方針 ※⑥	D		B

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援

※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	626,000円	21,614,000円	21,233,000円
決算額	530,060円	20,854,120円	
執行率	84.7%	96.5%	
事業実績	・全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望書提出（令和6年4月25日） ・SDGs AICHI EXP02024（令和6年10月10～12日 愛知国際展示場） ・アイランダー2024（令和6年11月16～17日 サンシャインシティ文化会館ビル）		篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行いました。 利用率 大人 93.1% 小人 75.8%

評価 (CHECK)

事業指標※③	県内でのPRイベント参加回数		割引券の利用率		助成券配布数に対する利用率
目標値※③	1回/年		利用率97%		90%以上
実績値/達成度	1回/年	達成	93.1%	未達成	
担当課評価 ※④	愛知県・佐久島と連携してイベント出展することができ、効果的なPRに繋がりました。また、国に対して離島振興に関する要望を提出することができました。		目標未達成でしたが、前年度と比較し利用率が4.5%ほど改善しました。		
費用対効果評価（効率性）※⑤	低い	1 2 3 ④ 5 高い	低い	1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

事業概要

交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 2 款 1 項 10 目 1 事業 交通安全推進費

予算額 (R7) 953千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 953千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金 町債 その他 一般財源

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度			
事業内容	交通安全推進事業			運転免許証自主返納支援事業		交通安全意識の高揚を目的に、交通安全啓発品の配布及び各種キャンペーンを開催します。			
	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全啓発品の配布及び各種キャンペーンを開催します。			65歳以上の高齢ドライバーが免許証を自主返納したときにその後の支援品として、町内路線バスの1日券12枚を交付します。					
基本施策① ※①	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯		3-2	つながりを活かした交通安全と防犯	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯		
基本施策② ※①	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ		3-5	安心な暮らしを支える地域公共交通	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ		
基本施策③ ※①									
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③	

改善 (ACTION)

課題	交通死亡事故ゼロの日の啓発への参加者が少なくなっています。	高齢者への啓発機会が限定的で、十分な周知ができていません。	
改善・対応策	役場が率先して啓発を行う姿を見せるため、ゼロの日の交通立番の改善を行います。	公共交通に関するタウンミーティング等を利用するなど、これまで実施してこなかった場面での周知も行います。	
推進方針 ※⑥	B		B

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援
※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	659,000円	288,000円	665,000円
決算額	598,680円	216,000円	
執行率	90.8%	75.0%	
事業実績	町交通安全推進協議会全体会 1回 (書面) 交通安全教室 1回 交通安全キャンペーン 3回 シートベルト関所 1回 幼児交通安全指導者研修会 1回 高齢者交通安全決起集会及び実践講座 1回		申請件数 30件

評価 (CHECK)

事業指標※③	人身交通事故件数の削減	運転免許証自主返納支援事業の申請者数		人身交通事故件数の削減
目標値※③	死亡事故及び重傷者ゼロかつ人身交通事故件数26件以下	40件/年		死亡事故及び重傷者ゼロかつ人身交通事故件数24件以下
実績値/達成度	人身交通事故件数27件 (死亡1人、重傷0人、軽傷22人)	未達成	30件	未達成
担当課評価 ※④	人身交通事故件数は減少したものの、港から車転落による交通死亡事故が1件発生してしまいました。	老人クラブで説明するなど啓発活動を強化したものの、目標値と実績値では乖離がありました。		
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要 交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事等を実施します

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 2 款 1 項 10 目 2 事業 交通安全施設整備費

予算額 (R7) 2,330千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度			
事業内容	交通安全施設整備事業					交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事等を実施します。			
	交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事等を実施します。								
基本施策① ※①	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯				3-2	つながりを活かした交通安全と防犯		
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ				3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		
基本施策③ ※①									
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③	

改善 (ACTION)

課題	カーブミラーの新設やミラーの取替要望が多く、予算内で進めていくには限度があります。		
改善・対応策	ミラーを磨くなど、予算をかせずにできることは積極的に実施していきます。		
推進方針 ※⑥	B		

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援

※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

町債 0千円 その他 0千円 一般財源 2,330千円

町債 その他 一般財源

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	830,000円		2,330,000円
決算額	785,400円		
執行率	94.6%		
事業実績	カーブミラー 1基 区画線工 2箇所 内 海 区画線 16.0m カラークラウド 14.8㎡ 日間賀島 区画線 138.0m		

評価 (CHECK)

事業指標※③	交通安全施設の新設		交通安全施設の新設
目標値※③	カーブミラー新設3基		カーブミラー新設 3基
実績値/達成度	カーブミラー新設 1基 区画線工 2 未達成		
担当課評価 ※④	カーブミラー設置個所の条件により新設費用が高額となったため、目標を達成できませんでした。		
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

事業概要

交通安全施設及び駐輪場の維持管理を実施します

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目

2 款 1 項 10 目 3 事業 交通安全施設維持管理費

予算額 (R7)

3,365千円

財源内訳

国庫支出金

0千円

県支出金

0千円

町債

1,600千円

その他

0千円

一般財源

1,765千円

決算額 (R7)

財源内訳

国庫支出金

県支出金

町債

その他

一般財源

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度			
事業内容	交通安全施設維持管理事業			駐輪場維持管理事業		交通安全灯、カーブミラー等の維持修繕及び交通安全灯のLED化を実施します。			
	交通安全灯、カーブミラー等の維持修繕及び交通安全灯のLED化を実施します。			内海駅高架下に設置してある町営駐輪場の維持管理及び放置自転車撤去を実施します。					
基本施策① ※①	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯		3-2	つながりを活かした交通安全と防犯	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯		
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		3-4	安心な暮らしを支えるインフラ	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		
基本施策③ ※①				3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ				
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③	

改善 (ACTION)

課題	価格高騰等により、必要件数を予算化していても、予定通りの件数が実施できていません。	定期的な見回りを実施するものの、無施錠や放置の自転車が一足存在します。	
改善・対応策	次年度予算要求時期までに今年度実施可能な基数を把握し、不足分を確実に次年度予算に反映していきます。	年度変わりには新たに自転車通勤・通学を始める方がいるため、前半は特に注意喚起を実施していきます。	
推進方針 ※⑥	B		B

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援
※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	2,934,000円	98,000円	3,269,000円
決算額	2,408,804円	74,998円	
執行率	82.1%	76.5%	
事業実績	交通安全灯、カーブミラー等の修繕を実施しました。 修繕等 交通安全灯 7基 (LED化) カーブミラー 3基		放置自転車撤去を実施しました。 放置自転車等処分件数 5台

評価 (CHECK)

事業指標※③	交通安全灯のLED化		駐輪場の見回り		交通安全灯のLED化	
目標値※③	12基/年		5回/年		12基/年	
実績値/達成度	7基/年	未達成	5回/年	達成		
担当課評価 ※④	予算の範囲内においてLED化を実施できたが、価格高騰の影響もあり、目標値は達成できませんでした。		警察、地元団体と連携し、定期的な見回りを実施できています。			
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い	1 2 ③ 4 5 高い	低い	1 2 ③ 4 5 高い	低い	1 2 3 4 5 高い

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要

町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目

2 款 1 項 10 目 4 事業 交通指導員設置費

予算額 (R7)

5,884千円

財源内訳 国庫支出金

0千円

県支出金

1,000千円

町債

0千円

その他

0千円

一般財源

4,884千円

決算額 (R7)

財源内訳 国庫支出金

県支出金

町債

その他

一般財源

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度			
事業内容	交通指導員設置事業					町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します。			
	町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します。								
基本施策① ※①	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯					3-2	つながりを活かした交通安全と防犯	
基本施策② ※①	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ					3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	
基本施策③ ※①									
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順			1	2	③

改善 (ACTION)

課題	令和6年度末に1名の退職があり、新任の交通指導員の知識が浅いです。		
改善・対応策	ベテラン指導員からの指導機会を作り、新任交通指導員のスキルアップを図ります。		
推進方針 ※⑥	B		

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援

※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低 ※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	4,878,000円		5,884,000円
決算額	4,873,113円		
執行率	99.9%		
事業実績	交通指導員 3名		

評価 (CHECK)

事業指標※③	交通指導員研修の実施		交通指導員研修の実施	
目標値※③	3回/年 (3名)		3回/年 (3名)	
実績値/達成度	3回/年 (3名)	達成		
担当課評価 ※④	全ての交通指導員が複数年採用していた方であったため、効果的な交通指導ができました。			
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要

犯罪防止のため、防犯運動の推進、防犯連絡責任者の委嘱、防犯灯の設置促進、安全なまちづくり及び暴力追放活動の推進に努めます

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目

2 款 1 項 13 目 1 事業 防犯対策費

予算額 (R7)

1,922千円

財源内訳

国庫支出金

0千円

県支出金

238千円

町債

0千円

その他

0千円

一般財源

1,684千円

決算額 (R7)

財源内訳

国庫支出金

県支出金

町債

その他

一般財源

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度					
事業内容	安全なまちづくり推進活動事業			防犯灯設置費補助事業		安全なまちづくりを推進するための事業を実施します。 ・安全なまちづくり推進協議会 ・安全なまちづくりイベント ・防犯カメラ設置費補助事業 ・特殊詐欺防止装置購入費補助事業 ・暴力団追放活動					
	安全なまちづくりを推進するための事業を実施します。 ・安全なまちづくり推進協議会 ・安全なまちづくりイベント ・防犯カメラ設置費補助事業 ・特殊詐欺防止装置購入費補助事業 ・暴力団追放活動			防犯灯設置促進を目的に区で設置する防犯灯の整備費に対して補助を行います。							
基本施策① ※①	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯			3-2	つながりを活かした交通安全と防犯		3-2	つながりを活かした交通安全と防犯		
基本施策② ※①	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ			3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ		
基本施策③ ※①					3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ					
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③			

改善 (ACTION)

課題	施設されていない空き家や自転車が多いです。	蛍光灯の製造が終了する2027年問題があるが、現在の予算では2027年までに全ての区のLED付替に対応できていません。	
改善・対応策	イベント等、様々な機会で安全なまちづくりに関する啓発活動を実施し、住民の危機意識向上を図ります。	各区の現状把握を行い、可能な範囲で次年度の予算に反映させていきます。	
推進方針 ※⑥	C		B

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援

※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価

※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	790,000円	852,000円	1,922,000円
決算額	634,200円	822,000円	
執行率	80.3%	96.5%	
事業実績	安全なまちづくり推進協議会 1回 (書面) 安全なまちづくりキャンペーン 4回 町管理防犯カメラ設置累計 10台 地域団体向け防犯カメラ設置費補助金 1件 家庭用防犯カメラ設置費補助金 1件 特殊詐欺防止装置購入費補助金 4件 暴力団追放パレード 1回		新設 13灯 LEDへの付替え 46灯

評価 (CHECK)

事業指標※③	犯罪発生件数の削減		防犯灯設置への補助を実施する		犯罪発生件数の削減	
目標値※③	刑法犯認知件数79件以下		新設15灯・LEDへの付替え45灯		刑法犯認知件数84件以下	
実績値/達成度	84件	未達成	新設13灯・LEDへの付替え46灯	未達成		
担当課評価 ※④	自転車盗が多発したため件数が増加した。駐輪場で「盗難防止」と書かれたタグを付けるなど、警察や地域と連携した活動ができました。		各区からの要望に対し、予算の範囲内で適切な補助金交付したが、全ての要望に対して対応することができません。			
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い	1 2 ③ 4 5 高い	低い	1 2 ③ 4 5 高い	低い	1 2 3 4 5 高い

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要

空家等対策計画に基づき地域住民に悪影響を及ぼす空家等への対策と空家等及びその跡地の利活用を促進します

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目2 款 1 項 13 目 2 事業 空家等対策事業費

予算額 (R7)12,380千円財源内訳国庫支出金5,073千円県支出金2,825千円町債0千円その他0千円一般財源4,482千円

決算額 (R7)財源内訳国庫支出金県支出金町債0千円その他一般財源

計画 (PLAN)

年度	令和6年度				令和7年度			
事業内容	特定空家等対策支援事業		空き家バンク事業		特定空家等の内、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れがある状態にあるもので、危険度及び緊急度が高いものは、除却費用の一部を支援します。			
	特定空家等の内、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れがある状態にあるもので、危険度及び緊急度が高いものは、除却費用の一部を支援します。 ＜補助金の額＞ 補助対象経費の5分の4かつ上限80万円（国費1/2、県費1/4、町費1/4）		空き家を有効活用し、移住・定住促進による地域の活性化を図るため、南知多町空き家情報登録「空き家バンク」制度を運営します。また、空き家バンク利用者への支援を実施します。 ・空き家対策総合支援事業補助金 ・空き家バンク制度補助金 ・空き家バンク物件登録支援業務					
基本施策① ※①	3-3	資源を生かす土地利用	3-3	資源を生かす土地利用	3-3	資源を活かす土地利用		
基本施策② ※①	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯		
基本施策③ ※①	3-1	まちと命を守る防災	3-1	まちと命を守る防災	3-1	まちと命を守る防災		
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順	1	2	③	

改善 (ACTION)

課題	相続放棄物件等が複数あり、指導の対象となる人が存在しないことから、物件の状態悪化が徐々に進行している。	移住者にとって空き家バンクを通して契約するメリットがほばないため、空き家バンク外での契約が増加している。	
改善・対応策	物件所有者または共同相続人に対して指導できない物件について、町としての方針を検討する。	空き家バンク制度の目的（移住促進）自体の見直しを実施する。	
推進方針 ※⑥	B		B

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援
※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	8,000,000円		2,383,000円
決算額	5,445,000円		669,000円
執行率	68.1%		28.1%
事業実績	補助金交付件数 7件	空き家バンク事業 空き家等登録数 7件 利用登録者数 16人 契約成立物件 1件 空き家バンク制度補助金 6件 物件登録支援業務 9件 アドバイザー派遣業務 0件	

評価 (CHECK)

事業指標※③	特定空家等の除却の補助		空き家バンク登録件数		特定空家等の除去の補助	
目標値※③	10件/年		10件/年		10件/年	
実績値/達成度	7件/年	未達成	7件/年	未達成		
担当課評価 ※④	補助金を活用せず除却した特定空家もあったことから、目標値としては未達成だが、除却実績としては概ね達成できたと考える。		年度末までに登録が間に合わなかった物件もあり、目標値未達成ではあるが、10件以上の登録依頼件数はあった。			
費用対効果評価（効率性）※⑤	低い	1 2 3 4 ⑤ 高い	低い	1 ② 3 4 5 高い	低い	1 2 3 4 5 高い

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要

南知多町地域公共交通計画に基づき、町民の通勤・通学・通院などの日常生活を支える公共交通の維持・活性化を図ります

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目

2 款 1 項 14 目 1 事業 公共交通対策事業費

予算額 (R7) 92,019千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 9,396千円 一般財源 82,623千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金 町債 その他 一般財源

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度				
事業内容	運賃等補助事業			コミュニティバス運行事業		通学、通勤、通院等の生活の利便性の向上と観光利用の促進を図り、公共交通の確保・維持のためコミュニティバス「海っ子バス」を委託運行します。				
	小中学生への運賃補助および学生（高校生、大学生、専門学生等）への定期券購入補助を実施することで、無料で乗車できる環境を作ること、子どもの頃から海っ子バスに慣れ親しんでいただき、利用促進を図ります。			通学、通勤、通院等の生活の利便性の向上と観光利用の促進を図り、公共交通の確保・維持のためコミュニティバス「海っ子バス」を運行します。						
基本施策① ※①	3-5	安心な暮らしを支える地域公共交通		3-5	安心な暮らしを支える地域公共交通	3-5	暮らしを支える地域公共交通			
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		3-4	安心な暮らしを支えるインフラ	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ			
基本施策③ ※①										
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③		

改善 (ACTION)

課題	高校生以上の申請手続きが、半年に1回行わなければならない煩雑となっています。	路線再編により発生した交通空白地や移動不便地域に対する移動手段の確保が求められています。	
改善・対応策	小中学生と高校生以上の学生の補助方法を統一し、利用者にとっても事務担当者にとってもより簡便な補助方法に変更します。	国や県と連携し、新たな交通施策導入に向けた実証事業等を実施し、南知多町に最適な交通網を検討します。	
推進方針 ※⑥	B		B

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援
※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	30,718,000円		63,955,000円
決算額	30,717,680円		56,689,238円
執行率	100.0%		87.8%
事業実績	登録者数 小中学生 586人 高校生等 243人 利用回数 小中学生 18,222回 高校生等 48,313回 マナー教室 南知多中学校 1回		海っ子バス運行委託 49,779,308円 【レスクル(株)美浜営業所】

評価 (CHECK)

事業指標※③	マナー向上のための啓発活動		海っ子バス利用者数		海っ子バス利用者数	
目標値※③	2回/年		300,000人/年		300,000人/年	
実績値/達成度	1回/年	未達成	264,757人/年	未達成		
担当課評価 ※④	目標値は未達成ですが、南知多中学校全校生徒に対してマナー向上のための啓発を実施でき、改善されました。		知多バスを利用していた方が海っ子バスを利用するようになり、利用者数は増加したものの、目標には達しませんでした。			
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い	1 2 3 4 ⑤ 高い	低い	1 2 3 ④ 5 高い	低い	1 2 3 4 5 高い

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要

知多南部消防組合との緊密な連携のもと消防団の火災及び災害の出動体制の確立を図ります

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 9 款 1 項 2 目 1 事業 消防一般管理費

予算額 (R7) 22,710千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 484千円 町債 0千円 その他 12,937千円 一般財源 9,289千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金 町債 その他 一般財源

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度			
事業内容	消防一般管理費					非常備消防団の被服の購入及び退職報償金の支払い等を行います。			
	非常備消防団の被服の購入及び退職報償金の支払い等を行います。								
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災				3-1	まちと命を守る防災		
基本施策② ※①	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ				3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ		
基本施策③ ※①									
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③	

改善 (ACTION)

課題	定員数を満たしていない分団があります。		
改善・対応策	消防団になることのメリットなどを、町広報誌、町公式LINEで広報します。		
推進方針 ※⑥	B		

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援
※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	23,743,000円		22,710,000円
決算額	20,577,007円		
執行率	86.7%		
事業実績	R6消防団員数 317人 (条例定数346人) ・R6退団者数 (～R6.3.31) 48人 ・R6入団者数 (R6.4.1～) 37人		

評価 (CHECK)

事業指標※③	団員募集の広報活動		団員募集の広報活動	
目標値※③	4回/年		4回/年	
実績値/達成度	4回/年	達成		
担当課評価 ※④	町広報紙への掲載の他、消防団が活動時に着用するTシャツに募集についての文言を追加することで、PRの幅を広げました。			
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要 消防団の主な行事である消防操法大会・観閲式・出初式を行います

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 9 款 1 項 2 目 2 事業 消防推進事業費

予算額 (R7) 3,258千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 3,258千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金 町債 その他 一般財源

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度			
事業内容	消防推進事業					消防団の主な行事である消防操法大会・観閲式・出初式を行います。			
	消防団の主な行事である消防操法大会・観閲式・出初式を行います。								
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災					3-1	まちと命を守る防災	
基本施策② ※①	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ					3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	
基本施策③ ※①									
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順			1	2	③

改善 (ACTION)

課題	課題は特にありません。		
改善・対応策	継続して消防団行事を開催します。		
推進方針 ※⑥	B		

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援
※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	3,275,000円		3,258,000円
決算額	3,054,635円		
執行率	93.3%		
事業実績	操法大会 100人 出初式 74人 観閲式 75人		

評価 (CHECK)

事業指標※③	消防操法大会・観閲式・出初式の開催		消防操法大会・観閲式・出初式の開催	
目標値※③	各1回/年		各1回/年	
実績値/達成度	各1回/年	達成		
担当課評価 ※④	各種行事において問題なく開催でき、消防団員の技能向上などを図ることができました。			
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要 消防団の緊急出動、訓練出動に係る報償費を支給し、分団の運営・活動を支援します

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 9 款 1 項 2 目 3 事業 消防団員活動費

予算額 (R7) 21,580千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 21,580千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金 町債 その他 一般財源

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度			
事業内容	消防団員活動事業					消防団の緊急出動、訓練出動に係る報償費を支給し、分団の運営・活動を支援します。			
	消防団の緊急出動、訓練出動に係る報償費を支給し、分団の運営・活動を支援します。								
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災				3-1	まちと命を守る防災		
基本施策② ※①	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ				3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ		
基本施策③ ※①									
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③	

改善 (ACTION)

課題	出動報告が団員・事務担当職員への負担となっています。		
改善・対応策	町公式LINEを活用した団員の出動報告を実施していきます。		
推進方針 ※⑥	B		

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援

※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低 ※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	22,517,000円		21,580,000円
決算額	20,161,400円		
執行率	89.5%		
事業実績	火災出動件数 8件 (延べ148人)		

評価 (CHECK)

事業指標※③	団員報酬の個人支給		団員報酬の個人支給	
目標値※③	出動団員に対する支給率100%		出動団員に対する支給率100%	
実績値/達成度	1回/年	達成		
担当課評価 ※④	令和6年度より団員個人への支給となりましたが、大きな問題なく支給できました。			
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要

消防詰所・車庫及び消防自動車等の消防施設等の維持、管理に努めます

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 9 款 1 項 2 目 4 事業 消防施設等維持管理費

予算額 (R7) 60,949千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 77千円 町債 55,400千円 その他 0千円 一般財源 5,472千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金 町債 その他 一般財源

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度			
事業内容	消防施設等維持管理事業					消防団第1分団（内海）の詰所車庫を町民会館敷地に新築し、詰所機能を移転します。防災設備強化を図ります。			
	消防詰所・車庫及び消防自動車等の消防施設等の維持、管理に努めます。								
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災				3-1	まちと命を守る防災		
基本施策② ※①	4-4	持続可能な行財政運営				4-1	持続可能な行財政運営		
基本施策③ ※①									
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③	

改善 (ACTION)

課題	施設が老朽化しており、安全に使用できない恐れがあります。		
改善・対応策	公共施設再配置計画及び防災・消防施設計画に基づき、第1分団詰所車庫の建設工事を行います。		
推進方針 ※⑥	B		

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援
※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	25,188,000円		60,949,000円
決算額	24,703,910円		
執行率	98.1%		
事業実績	消防車両車庫 20台 第1分団詰所新築工事設計業務委託 日間賀島消防団東消防車庫建替工事 ・解体工（鉄骨造2階建て 延べ床面積69.52㎡） ・車庫設置工（軽量鉄骨造平屋建て プレース構造 延べ床面積45.56㎡）		

評価 (CHECK)

事業指標※③	消防施設の更新		消防施設の更新
目標値※③	日間賀島消防車庫の建て替え工事		内海消防詰所の新築
実績値/達成度	日間賀島東消防車庫の建て替え工事完了？ 達成		
担当課評価 ※④	老朽化して危険であった日間賀島東詰所車庫を取り壊し、現在の利用状況に合わせた車庫として建て替えました。		
費用対効果評価（効率性）※⑤	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要 火災等に対応できるよう、消火栓等の適正な維持管理、整備に努めます

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 9 款 1 項 3 目 1 事業 消火栓整備事業費

予算額 (R7) 5,771千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 542千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度				
事業内容	消火栓整備事業					火災等に対応できるよう、消火栓等の適正な維持管理、整備に努めます。				
	火災等に対応できるよう、消火栓等の適正な維持管理、整備に努めます。									
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災				3-1	まちと命を守る防災			
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ				3-4	安心な暮らしを支えるインフラ			
基本施策③ ※①	4-4	持続可能な行財政運営				4-1	持続可能な行財政運営			
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③		

改善 (ACTION)

課題	住宅事情等の変化により、消防水利が不足している地区があります。		
改善・対応策	優先的に整備する箇所を検討し、新設します。 令和7年度新設：1基（日間賀島亀井戸）		
推進方針 ※⑥	B		

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援

※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価

※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

町債 1,400千円 その他 0千円 一般財源 3,829千円

町債 その他 一般財源

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	6,970,000円		5,771,000円
決算額	4,712,877円		
執行率	67.6%		
事業実績	消火栓設置総数 1,060基 ・新設 0基 ・修繕等 5基		

評価 (CHECK)

事業指標※③	消火栓の新設		消火栓の新設
目標値※③	2基（篠島照浜、日間賀島小戸地）		1基（日間賀島）
実績値/達成度	0基 未達成		
担当課評価 ※④	篠島照浜は、護岸工事が未完了のため、完了後行います。（時期は未定） 日間賀島小戸地は、計画を変更し、移設で対応しました。		
費用対効果評価（効率性）※⑤	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要

小型動力ポンプ積載車等の計画的な更新、整備に努めます

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 9 款 1 項 3 目 2 事業 消防団備品整備事業費

予算額 (R7) 6,218千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 1,654千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度			
事業内容	消防車両等購入					小型動力ポンプ付積載車1台（大井）を購入します。 す。			
	消防広報車1台（日間賀島）、小型動力ポンプ1台（篠島）を購入します。								
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災				3-1	まちと命を守る防災		
基本施策② ※①	4-4	持続可能な行財政運営				4-1	持続可能な行財政運営		
基本施策③ ※①									
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③	

改善 (ACTION)

課題	消防車両及びポンプの耐用年数が過ぎているものがあり、迅速な消火活動等に支障をきたす可能性があります。		
改善・対応策	年式が古いものなどから更新します。		
推進方針 ※⑥	B		

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援

※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価

※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

町債 4,500千円 その他 0千円 一般財源 64千円

町債 その他 一般財源

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	4,795,000円		6,218,000円
決算額	4,474,800円		
執行率	93.3%		
事業実績	消防車両総数 29台 消防ポンプ 28台 ・消防広報車（軽バン）1台（日間賀島） ・小型動力ポンプ（B-2級）1台（篠島）		

評価 (CHECK)

事業指標※③	消防団車両及びポンプの更新		消防団車両及びポンプの更新
目標値※③	広報車1台購入（日間賀島）、小型動力ポンプ1台購入（篠島）		小型動力ポンプ付積載車1台購入（大井）
実績値/達成度	広報車1台購入（日間賀島） 小型動力ポンプ1台購入（篠島）	達成	
担当課評価 ※④	年式が古い車両及びポンプを更新しました。		
費用対効果評価（効率性）※⑤	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要

町民等を災害から守るため、警備・訓練・研修の実施、防災設備の維持管理を行います

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 9 款 1 項 4 目 1 事業 防災対策事業費

予算額 (R7) 40,272千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 644千円 町債 10,200千円 その他 70千円 一般財源 29,358千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金 町債 その他 一般財源

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度				
事業内容	訓練・研修・警備等の実施			防災設備の維持管理		町主催による防災訓練及び防災研修を実施します。 また、防災行政無線等の防災設備の維持管理に努めます。				
	町主催による防災訓練及び防災研修、消防団による海水浴場警備及び年末夜警を実施します。			防災行政無線等防災設備の適正な維持管理に努めます。						
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災			3-1	まちと命を守る防災		3-1	まちと命を守る防災	
基本施策② ※①	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ			4-4	持続可能な行政運営				
基本施策③ ※①	※①									
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③		

改善 (ACTION)

課題	令和7年度に被災者生活再建支援システムを導入するが、職員が災害時の業務とシステムの活用方法を理解していません。	防災行政無線子局のバッテリー及び再送信無線機が耐用年数を超えています。	
改善・対応策	職員向けに、災害時の被災者生活再建支援業務及びシステムの活用方法についての研修会を実施します。	令和7年度に子局のバッテリー31カ所及び再送信無線機8カ所を交換します。	
推進方針 ※⑥	A		B

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援
※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	9,765,000円		11,837,000円
決算額	8,820,599円		11,123,792円
執行率	90.3%		94.0%
事業実績	海水浴場警備 161人 年末夜警 314人 防災訓練 402人 地域防災リーダー養成講座 37人 家具固定 申請1件(実績0件)		防災ラジオ購入 30台 防災行政無線拡声子局バッテリー取替工事 31局

評価 (CHECK)

事業指標※③	被害認定調査システム導入の検討		防災設備の更新		被害認定調査システムの導入	
目標値※③	導入するシステムの決定		防災行政無線拡声子局バッテリー取替 (31局)		システム操作研修 1回	
実績値/達成度	導入するシステム決定	達成	防災行政無線拡声子局バッテリー取替 (31局)	達成		
担当課評価 ※④	複数の業者及び導入している他県の自治体への聞き取りや、近隣市町との情報交換を行い、導入するシステムを決定しました。		工事を問題なく完了しました。			
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い	1 2 3 ④ 5 高い	低い	1 2 ③ 4 5 高い	低い	1 2 3 4 5 高い

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要 非常食の備蓄、避難所備品の購入及び自主防災組織に対する支援を行います

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 9 款 1 項 4 目 2 事業 災害対策事業費

予算額 (R7) 9,977千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 799千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金

計画 (PLAN)

年度	令和6年度						令和7年度			
事業内容	避難所用備品購入事業			自主防災組織支援事業			非常食及び避難所での必要備品を購入します。			
	非常食及び避難所での必要備品を購入します。			災害時における自助・共助のうちの共助を支援するため、自主防災組織に補助等を実施します。 自主防災組織等活動事業補助金 自主防災会防災対策事業補助金						
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災		3-1	まちと命を守る防災		3-1	まちと命を守る防災		
基本施策② ※①	4-4	持続可能な行財政運営		3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ		4-1	持続可能な行財政運営		
基本施策③ ※①	※①									
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順			1	2	③	

改善 (ACTION)

課題	毛布、簡易トイレ及び凝固シートが備蓄計画に定めた目標値に達していません。	特にありません。	
改善・対応策	令和14年度に目標達成できるよう、計画的に継続して購入します。	今後も継続して適正な補助金の活用を推進します。	
推進方針 ※⑥	B		B

※① 基本目標・基本施策、別紙「総合計画体系表」参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援
※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

町債 0千円 その他 270千円 一般財源 8,908千円

町債 その他 一般財源

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	5,746,000円	5,011,000円	5,428,000円
決算額	5,650,025円	5,010,000円	
執行率	98.3%	100.0%	
事業実績	非常用食料 9,652食 保存飲料水 1,752本 避難所用備品 毛布 800枚 簡易トイレ 12個 凝固シート 14,600回分 非常用ウェットタオル 540枚	対策補助金 ・資機材整備 19団体 ・津波避難路整備 11団体 活動補助金 7団体 コミュニティ助成事業補助金 1団体	

評価 (CHECK)

事業指標※③	避難所用物資の購入	補助金制度の説明会の実施		避難所用物資の購入
目標値※③	毛布800枚、簡易トイレ2台、凝固シート9,000回分	各地区1回		毛布800枚、簡易トイレ2台、凝固シート9,000回分
実績値/達成度	毛布800枚、簡易トイレ12台、凝固シート14,600回分	達成	各地区1回	達成
担当課評価 ※④	入札残を活用し目標より多く購入することができました。	適正な交付事務により、補助金を活用した自主防災活動の支援ができました。		
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要 高潮等の災害に備え、樋門門扉の維持管理を実施します

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 9 款 1 項 4 目 3 事業 樋門門扉維持管理費

予算額 (R7) 2,002千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 2,002千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度			
事業内容	樋門門扉維持管理事業					高潮等の災害に備え、樋門門扉の維持管理を実施します。			
	高潮等の災害に備え、樋門門扉の維持管理を実施します。								
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災				3-1	まちと命を守る防災		
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ				3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		
基本施策③ ※①	4-4	持続可能な行財政運営				4-1	持続可能な行財政運営		
重点政策 ※②	1	2	3	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③	

改善 (ACTION)

課題	樋門操作を習得できていない消防団員がいます。		
改善・対応策	継続して訓練を実施します。		
推進方針 ※⑥	B		

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援

※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価

※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

町債 0千円 その他 0千円 一般財源 0千円

町債 その他 一般財源

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	1,892,000円		2,002,000円
決算額	1,194,760円		
執行率	63.1%		
事業実績	訓練回数 6回/年 出勤人員 延べ536人 (消防団員482人、町職員54人)		

評価 (CHECK)

事業指標※③	施設の操作訓練を兼ねた点検を実施		施設の操作訓練を兼ねた点検を実施	
目標値※③	6回/年		6回/年	
実績値/達成度	6回/年	達成		
担当課評価 ※④	定期的な点検及び操作訓練を実施し、災害時の円滑な操作が可能となりました。			
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低

事業概要 町民等を災害から守るため、防災施設の維持管理を行います

担当課 02総務部 防災交通課

予算科目 9 款 1 項 4 目 4 事業 防災施設維持管理費

予算額 (R7) 10,395千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 641千円

決算額 (R7) 財源内訳 国庫支出金 県支出金

計画 (PLAN)

年度	令和6年度					令和7年度				
事業内容	防災施設の維持管理					町民等を災害から守るため、防災施設の維持管理を行います。 ・内海防災センター ・豊浜防災センター ・師崎避難所 ・篠島防災センター ・日間賀島防災センター				
	町民等を災害から守るため、防災施設の維持管理を行います。 ・内海防災センター ・豊浜防災センター ・師崎避難所 ・篠島防災センター ・日間賀島防災センター									
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災				3-1	まちと命を守る防災			
基本施策② ※①	4-4	持続可能な行財政運営				4-1	持続可能な行財政運営			
基本施策③ ※①										
重点政策 ※②	1	2	③	※R6は①子育て②産業③定住の順		1	2	③		

改善 (ACTION)

課題	令和7年度より一般利用者への貸し出しが始まるが、予約等の運用方法が確立していません。		
改善・対応策	教育課と協議・連携しながら運用方法を確立していきます。		
推進方針 ※⑥	B		

※① 基本目標・基本施策 別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 産業の活性化と雇用の確保 ② 子育て支援と教育の充実 ③ 定住支援

※③ 事業指標・目標値 前年度の課題を解決した時に得たい目標の指標及び目標値 ※④ 担当課評価 達成度に対する評価及び前年度事業評価書ACTIONに対する評価

※⑥ 推進方針 A…方針修正なし B…方針修正必要 C…廃止検討

町債 0千円 その他 932千円 一般財源 8,822千円

町債 その他 一般財源

実施 (DO)

年度	令和6年度		令和7年度
予算額	7,742,000円		10,395,000円
決算額	7,467,939円		
執行率	96.5%		
事業実績	・内海防災センター 自動ドア装置修繕工事 ・AED更新 (内海防災センター、篠島防災センター)		

評価 (CHECK)

事業指標※③	防災施設の現況把握のための点検実施		防災施設の現況把握のための点検実施	
目標値※③	12回/年		12回/年	
実績値/達成度	12回/年	達成		
担当課評価 ※④	適正な維持管理ができています。			
費用対効果評価 (効率性) ※⑤	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	

※⑤ 費用対効果評価 事業の費用対効果の高低